

手話を覚えよう

本市では、平成31年1月より「富田林市手話言語条例」を施行し、手話は言語であるという認識に基づき、手話への理解促進、手話の普及、啓発を進めています。

耳の聞こえる人は、日本語や英語など「音声言語」でコミュニケーションを図りますが、耳が聞こえない、聞こえにくい人の中には手話をコミュニケーション言語としている人がいます。

手話は手指や体の動き、表情などを使ってコミュニケーションを図る「見る言語」です。手話を覚えて、コミュニケーションを図り、聴覚障がいへの理解を広めていきましょう。

日常で良く使う表現を学びましょう (パート2)

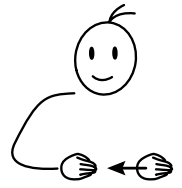
日常生活の場面で良く使う表現があります。対象となるものを指さした後に右記の手話を入れることで

意味が深まります。困っている時などの問いかけにも役立ちます。

●ワンポイント手話

①大丈夫・できる

右手の指先を左胸に当ててから、右胸に当てる。表情をつけることで更に意味が伝わりやすくなります。



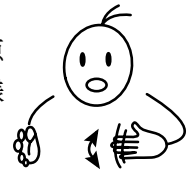
②難しい・できない

右手で右頬をつねるように内側に回す。表情が重要なポイントです。



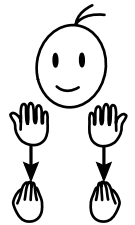
③まだ

右手を終点とすると、左手はまだ終点まで届いていない(達していない)様子として左手を振る。



④終わり

開いた手を閉じながら下方向へ動かす。炎が消えるイメージです。



障がい福祉課 (内線192)

ズームアップ! 健康づくり

9月は健康増進普及月間です

本市では、誰もが安心して、健康に暮らせるまちづくりをめざして「健康とんだばやし21(第二次)及び食育推進計画」を策定し、8つの柱①栄養・食生活、②身体活動・運動、③休養・こころの健康づくり、④たばこ、⑤アルコール、⑥歯の健康、⑦健康チェック、⑧ふれあいづくり」を基本とする取り組みをしています。

7つ目の健康チェックとして、病気の芽を早期に発見し、改善可能な段階でチェックできるような各種健診・検診事業を実施しています。

定期的ながん検診を受けましょう

現在、日本人の2人に1人は、一生のうち何らかのがんにかかると言われていています。自覚症状がほとんどなく、がんの発見が遅れてしまう場合や、がんの種類によっては治療をしても再発、もしくは、別の部位に転移しやすい場合もあり、これらが、がんの恐ろしさと言えます。

早期に発見・治療することで、が

んが治癒する可能性も高まります。新型コロナウイルス感染症への感染の懸念などにより、がん検診を控えていますか。

あなた自身のため、また、あなたの大切な人のために、がん検診を受けることが大切です。

本市では、胃・肺・大腸・乳・子宮のがん検診を、無料で受けることができます(乳・子宮は女性のみ)。



※詳しくは、22ページをご覧ください。
市ウェブサイト(健康づくり推進課のページ)でも実施医療機関や集団検診の日程をご確認いただけます。



ONLY ONE 企業になるために
 ~ We will aim to One &
 only small world-class company ~



三洋電線株式会社

皆さん、電線という言葉聞いて何を想像しますか。身の回りを見渡すと電柱や電化製品などに電線が使われているのが目に付くと思います。

三洋電線では、いろいろな用途のある電線の中で素線が0.03mm~0.12mmの極細銅線を数本から何千本集め、曲げに強い撚り線を作っています。



「フレキシブルでかつ長寿命」信頼性が高い電線が強み

ロボットアームなどに使われる電線は、柔らかくかつしなやかな動きや曲げに強い長寿命な電線が求められます。例えば外径1mmの単線と0.05mmの素線を252本集めて作った撚り線を比べると、針金と紐を比べると同じくらい、曲げに対する柔らかさと耐久性が全く異なります。当社はサイズや撚り方など、あらゆるニ-

●会社概要

所在地 中野町東二丁目5の50
 代表者 代表取締役 石原 年晃
 従業員 17人
 創立 昭和21年3月



ズに対応する電線をオーダーメイドで制作しています。

縁の下の力持ちの会社です

当社の製品は機械の中に組み込まれることが多く、人目につくものではありません。しかし電気を使う製品ならば必ず電線が必要であり、当社は皆さんの暮らしの重要な部分を担っていると自負しています。極細線を巧みに操る製造方法が評価され「大阪ものづくり優良企業賞2017」を受賞しました。今年で創業75周年を迎え「匠の技」で信頼を武器に細く長く事業を営み続けたいと思います。

SDGsにも積極的に取り組んでいます

昨年からSDGsの取り組みに参加し、外務省から感謝状を頂きました。今年は「富田林市SDGsパートナー」企業として登録しました。これからも地球に優しい企業づくりをめざします。

商工観光課（内線481）

みんなで取り組もう 健康長寿



口のケアは健康の秘訣

「固い物が食べにくくなった」「水分を取るとむせることがある」「口の中が乾く」など、高齢になると歯や口のトラブルが起こりやすくなります。「年だから」と放置していると、全身の健康へ影響を与える恐れがあります。

◆口の中の清潔を保ちましょう

本市では、令和元年度に後期高齢者医療の歯科健康診査を受けた人のうち、約25%の人に口腔乾燥がみられました。口の中が乾燥して唾液が出にくくなると、食べかすや汚れが歯や入れ歯、舌の上にたまりやすくなります。口の中の細菌が増え、むし歯や歯周病が悪化したり、歯を失ったりする原因になります。また、口の中が不衛生になると、誤嚥性肺炎などの深刻な病気につながることもあります。

歯間ブラシやデンタルフロスなどを使って、歯と歯の間も丁寧に磨きましょう。

よく噛んで食べることで、唾液の量も良くなり口の中がきれいになり

◆人と話すこと、歌を歌うことなどを楽しみましょう
 あごや舌の筋力が弱まると、しっかり噛んで食べることが難しくなります。また、喉や舌の筋力が弱まると、食べ物が飲み込みにくくなります。

そのため、体重減少、体力、免疫力の低下につながりやすくなります。話すことや歌を歌うことは、舌、唇、頬、喉などの運動になります。現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人との接触機会を減らす生活が続いています。感染防止に努めつつ、家族との会話や友人との電話、自宅での歌唱など、工夫して楽しみましょう。

◆早期に気づき、予防に取り組みましょう

後期高齢者医療の歯科健康診査では歯の状態だけでなく、噛む力や飲み込む力など口腔機能のチェックもしています。対象となる人には4月に「歯科健康診査のお知らせ」を送付しています。また、市の健康教室や介護予防教室などでは、口腔ケアや唾液腺マッサージ、健口体操などの紹介もしています。ぜひご利用ください。

福祉医療課（内線198）